

福岡官公部門連絡会が学習会開催ー4/21

ー5月末には「公共サービスキャンペーン」集会開催へー

連合福岡官公部門連絡会は、4月21日、「公務員制度及び公共サービスキャンペーン」学習会を開催した。公共サービス基本条例制定を課題としたことから県会議員や議会会派事務局からの参加も含め、全体では130人が参加した。



講演する吉澤公務労協事務局長

学習会では、吉澤伸夫公務労協事務局長が「公務員制度改革をめぐる情勢と課題～民主党を中心とする政権における労働基本権の確立に向けて～」と題して講演を行い、公共サービスキャンペーンの意義について提起され、公共サービス基本条例の制定にむけ、まずは県段階での運動を盛り上げていくことが重要であることを訴えた。

また、労働基本権の確立については、政権交代後の民主党や政府との折衝・交渉や、ILO

の度重なる勧告に対する政府の対応を紹介し、労働基本権確立に向けて、具体的な動きが始まったことを報告した。

さらに、参議院選挙の結果がこれらの課題に大きく影響することから、選挙の勝利にむけて意思統一し、取組みを強化しようと提起した。

講演の後、福岡連合官公部門事務局から、①9月議会提出に向け、「基本条例制定を求める要請書」の署名活動を行うこと②5月30日、県公務労協と共催で「公共サービスキャンペーン」集会を開催し、街頭行動することなど、取組みを提起し、学習会を終えた。